

腹壁瘢痕ヘルニア入院（水・金手術）患者さんパスシート（NO.1）

氏名		診療科名	消化器外科	
		入院予定期間	入院日	年 月 日
			退院日（予定）	年 月 日

月 日	/
経過	入院1日目（手術前日）
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 手術の物品の準備をしましょう。 手術や入院生活について理解しましょう。 転倒予防について理解しましょう。 手術や麻酔について理解しましょう。
治療	・麻酔科外来の受診があります。
薬	・持参した薬は継続して内服するか医師に確認しますので、一度お預かりします。
処置	・お腹周りの不要な毛を処理します。
観察	・体温、血圧、脈拍を測定します。
排泄	・特にありません。
活動	・制限はありません。
食事	・夕食後以降は食べられません。 ・水分(お茶・水のみ)は飲めます。
清潔	・お腹の毛を処理した後に、シャワーに入りましょう。
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> 麻酔科医より手術の際の麻酔についての説明があります。 主治医から、病状の説明と手術に関する説明があります。 看護師から入院生活、手術前後の処置や経過、手術に必要な物品、転倒予防などについて説明します。 <p>手術の必要物品 浴衣、T字帯、バスタオル、腹帯 各1枚ずつ</p>  

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますので、ご了承ください。

腹壁瘢痕ヘルニア入院（水・金手術）患者さんパスシート（NO.2）

氏名		診療科名	消化器外科	
		入院予定期間	入院日 退院日（予定）	年 月 日 年 月 日

月 日	/		
経過	入院2日目（手術当日）		
	手術前	手術後	
達成目標	・手術室に向かう準備をしましょう。	<ul style="list-style-type: none"> 身体の苦痛がある時は我慢せずに看護師に伝えましょう。 酔から覚めたらベッドの上で足を動かしましょう。 床ずれ予防のため定期的に体の向きを変えましょう。 転倒予防について理解しましょう。 	
治療	・手術前に弾性ストッキングを着用します。	<ul style="list-style-type: none"> 痛みが強くなった場合は、状況に応じた鎮痛薬を使うことができます。 	
薬	・医師の指示で内服薬がある場合はお薬を飲みます。	<ul style="list-style-type: none"> 点滴をします。 	
検査・処置	・特にありません。	<ul style="list-style-type: none"> 酸素吸入をします。 	
観察	・手術前に体温、血圧、脈拍を測定します。	<ul style="list-style-type: none"> 1時間ごとに体温、血圧、脈拍を測定します。 傷の状態や痛みを観察します。 	
排泄	・特にありません。	<ul style="list-style-type: none"> 尿の管が挿入されています。 	
活動	・制限はありません。	<ul style="list-style-type: none"> ベッド上安静になります。 手術後3時間後より酸素終了となり、歩く事ができます。 	
食事	・食べられません。 ・手術前2時間前まで飲水可能です。	<ul style="list-style-type: none"> 手術後は、飲んだり食べたり出来ません。 	
清潔	・朝起きたら歯磨き、洗面を行ないましょう。	<ul style="list-style-type: none"> ベッド上でうがい、歯磨きができます。 手術3時間後より洗面所にて歯磨き・洗面が可能です。 	
説明指導	・手術前までに浴衣・弾性ストッキングを着用しましょう。 ・貴重品はご家族の方に預けるか貴重品BOXへ入れましょう。 ・御家族の方は手術中の待機場所を看護師へお知らせください。	<ul style="list-style-type: none"> 傷の痛みが強い時、横向きが出来ない時など、身体の苦痛があれば、看護師にお伝え下さい。 手術後初めて歩くときは、酔の影響等によりふらつき、転倒の危険性がありますので、ナースコールを押して看護師を呼んで下さい。 	

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますので、ご了承ください。

腹壁瘢痕ヘルニア入院（水・金手術）患者さんパスシート（NO.3）

氏名		診療科名	消化器外科		
		入院予定期間			入院日 年 月 日
			退院日（予定）	年 月 日	

月 日	/
経過	入院3日目（手術後1日目）
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 痛みは我慢せずに看護師に伝えましょう。 転倒に注意し病棟内を歩行しましょう。
治療	<ul style="list-style-type: none"> 病棟内を歩く事が出来れば、弾性ストッキングを脱ぎます。
薬	<ul style="list-style-type: none"> 手術前より内服していたお薬は開始となります。 朝から痛み止めのお薬を開始します。
検査	<ul style="list-style-type: none"> 採血、レントゲン撮影を行ないます。
処置	<ul style="list-style-type: none"> 点滴終了後、針を抜きます。
観察	<ul style="list-style-type: none"> 傷の状態や痛みを観察します。
排泄	<ul style="list-style-type: none"> 歩行ができたら、尿の管を抜きます。
活動	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません。
食事	<ul style="list-style-type: none"> 朝からお水が飲めます。 朝食（5分粥）、昼食（全粥）、夕食（常食）が出ます。
清潔	<ul style="list-style-type: none"> 身体拭きをします。必要な際は、看護師がお手伝いします。
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> 吐き気、腹部膨満感、腹痛など気になる症状があれば、看護師にお伝え下さい。 傷の痛みが強い時は、遠慮なく看護師にお伝え下さい。 手術後は、傷の痛みや麻酔の影響などにより、転倒しやすくなっています。歩行にふらつきを自覚する時や自信がないときは、ナースコールを押して看護師を呼んで下さい。



腹壁瘢痕ヘルニア入院（水・金手術）患者さんパスシート（NO.4）

氏名		診療科名	消化器外科	
		入院予定期間	入院日	年 月 日
			退院日（予定）	年 月 日

月 日	/	/
経過	入院4日目（手術後2日目）	入院5日目（手術3日目）
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 痛みは我慢せずに看護師に伝えましょう。 転倒に注意し徐々に活動範囲を広げましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 退院後の生活をイメージしましょう。 退院後、気を付ける症状を理解しましょう。
治療	•特にありません。	
薬	•医師の指示通り内服しましょう。	
検査・処置	•ガーゼを取ります。	
観察	•傷の状態、痛みなどを観察します。	
排泄	•特に制限はありません。	
活動	•特に制限はありません。	
食事	•常食（普通の食事）が出ます。	
清潔	<ul style="list-style-type: none"> 医師が傷の状態を確認したら、シャワーに入ることが出来ます。その際、傷口は強くこすらず、洗い流す程度にしましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> シャワーに入りましょう。
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> 吐き気、腹部膨満感、腹痛など気になる症状があれば、看護師にお伝えください。 傷の痛みは徐々に緩和しますが、痛みが強い時は、遠慮なく看護師にお伝えください。 痛みに応じて活動範囲を広げていきましょう。 ふらつきを自覚する時や自信がないときは、ナースコールを押して看護師を呼んで下さい。 	

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますので、ご了承ください。

腹壁瘢痕ヘルニア入院（水・金手術）患者さんパスシート（NO.5）

氏名		診療科名	消化器外科	
		入院予定期間	入院日	年 月 日
			退院日（予定）	年 月 日

月 日	/
経過	入院6日目（手術後4日目・退院日）
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 退院後の生活をイメージしましょう。 退院後、気をつけるべき症状を理解しましょう。
治療	<ul style="list-style-type: none"> 創部の異常がないと退院になります。
薬	<ul style="list-style-type: none"> 医師の指示通り内服しましょう。
検査・処置	<ul style="list-style-type: none"> 傷の状態により、必要に応じて処置を行ないます。
観察	<ul style="list-style-type: none"> 退院前に傷の状態を医者が最終確認します。
排泄	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません。
活動	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません。
食事	<ul style="list-style-type: none"> 常食（普通の食事）が出ます。
清潔	<ul style="list-style-type: none"> シャワーに入れます。
説明指導	<p>《退院後の注意点》</p> <ul style="list-style-type: none"> 運動習慣がある人は主治医に相談して下さい。 傷の痛みが強くなったり、赤く腫れてきたり、膿みみたいなものができたり、腹痛や腹部膨満感、発熱が出現した場合は外来へ相談しましょう。 手術後1週間経ち、傷口に問題がなければ入浴可能です。 退院後の生活について疑問や心配がある場合は、遠慮なく看護師に質問して下さい。 保険などの書類は退院日に本館1階・中央受付Aに提出してください。 (ただし日曜・祝日は受付できません) <p>次回の外来日は・・・ 月 日 時からです</p> 

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますので、ご了承ください。